

大阪大学生物工学国際交流センター

歴史と将来展望



生物工学国際交流センター 歴史

1978年(昭和53年)

1 研究部門

大阪大学工学部附属微生物工学国際交流センター設置
(International Center of Cooperative Research and Development in Microbial Engineering, Japan)

1985年(昭和60年)

大阪大学工学部附属微生物工学国際交流センター廃止
大阪大学工学部附属生物工学国際交流センター設置

1995年(平成7年)

2 研究部門

大阪大学工学部附属生物工学国際交流センター廃止
大阪大学生物工学国際交流センターを学内共同利用教育研究施設として設置
(International Center for Biotechnology)

2002年(平成14年)12月

CRS, ICBiotech, Bangkok をタイ王国マヒドン大学に設置

なお、微生物学国際大学院研修講座は、大阪大学工学部醗酵工学教室(工学研究科生命先端工学専攻 生物工学コース)において、1973年(昭和48年)に開設され、センター設置後は両者によって運営されている。

生物工学国際交流センター 歴史

東南アジア共同研究拠点(CRS) 2002年

タイ王国マヒドン大学理学部内に開設

日本学術振興会拠点大学プログラムなどによる東南アジア天然資源の持続的利用および生物遺伝資源の開発における現地共同研究を推進するために、日本人研究者および東南アジア研究者がCRSの設備を活用している。

2004年度
バイオテクノロジー
国際大学院



生物工学国際交流センター 歴史

工学部附属微生物工学国際交流センター

1 研究部門



生物工学国際交流センター

2 研究部門

474 m²(一般研究室 約300 m²);
学生と教員 50人

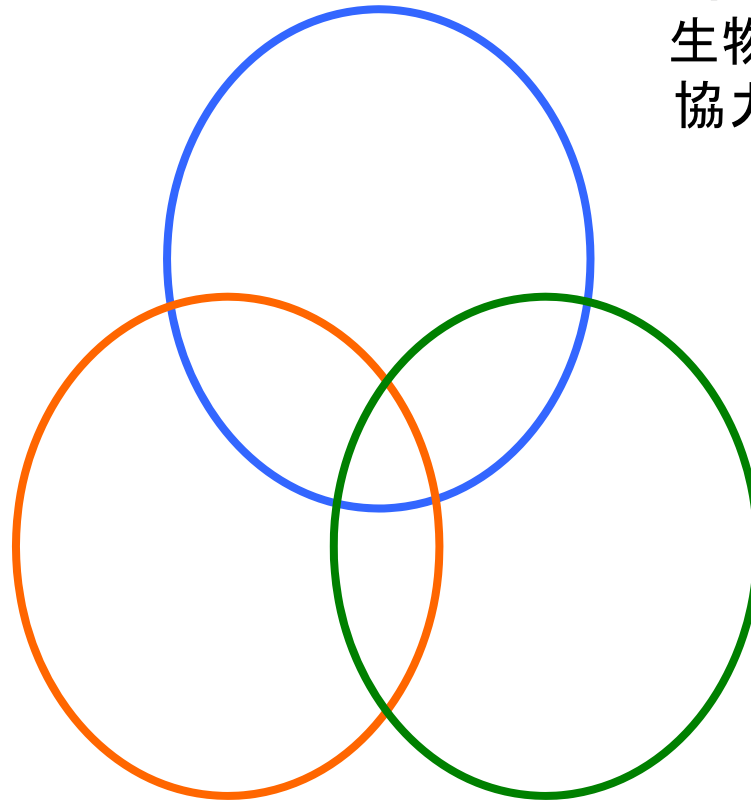


教育

工学研究科生命先端工学専攻
生物工学コース
協力講座

研究

国際交流

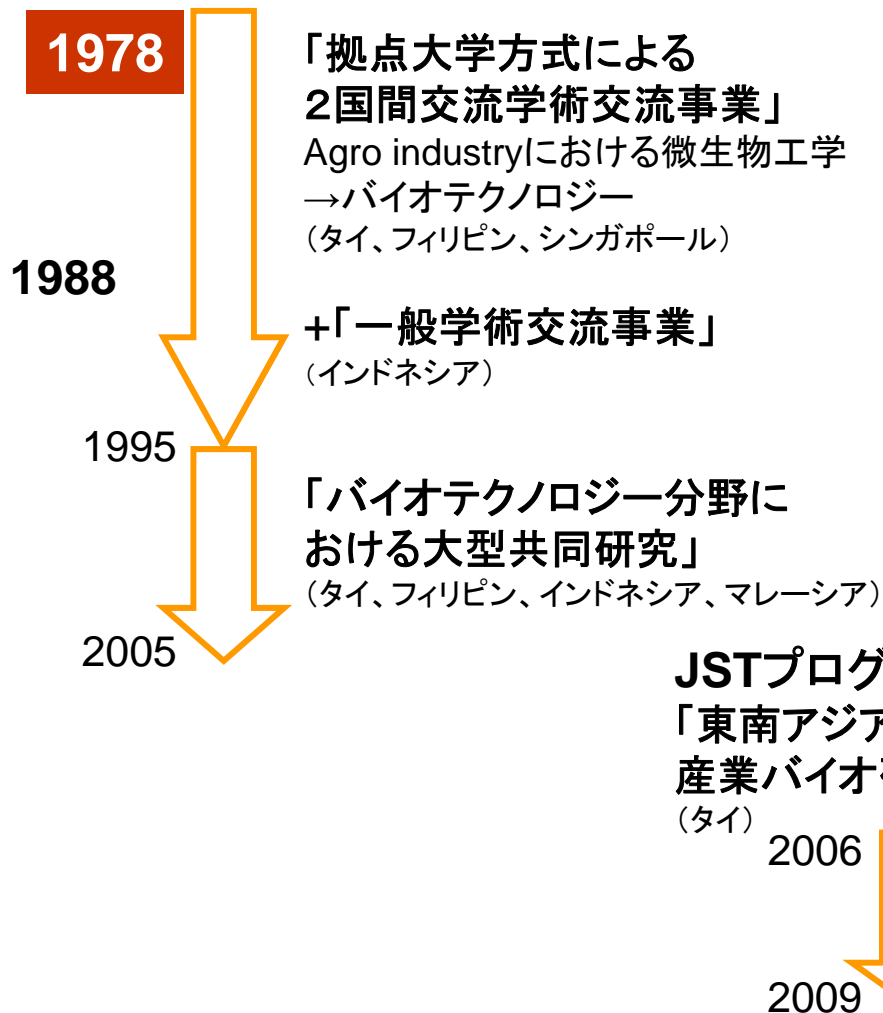


生物工学国際交流センター

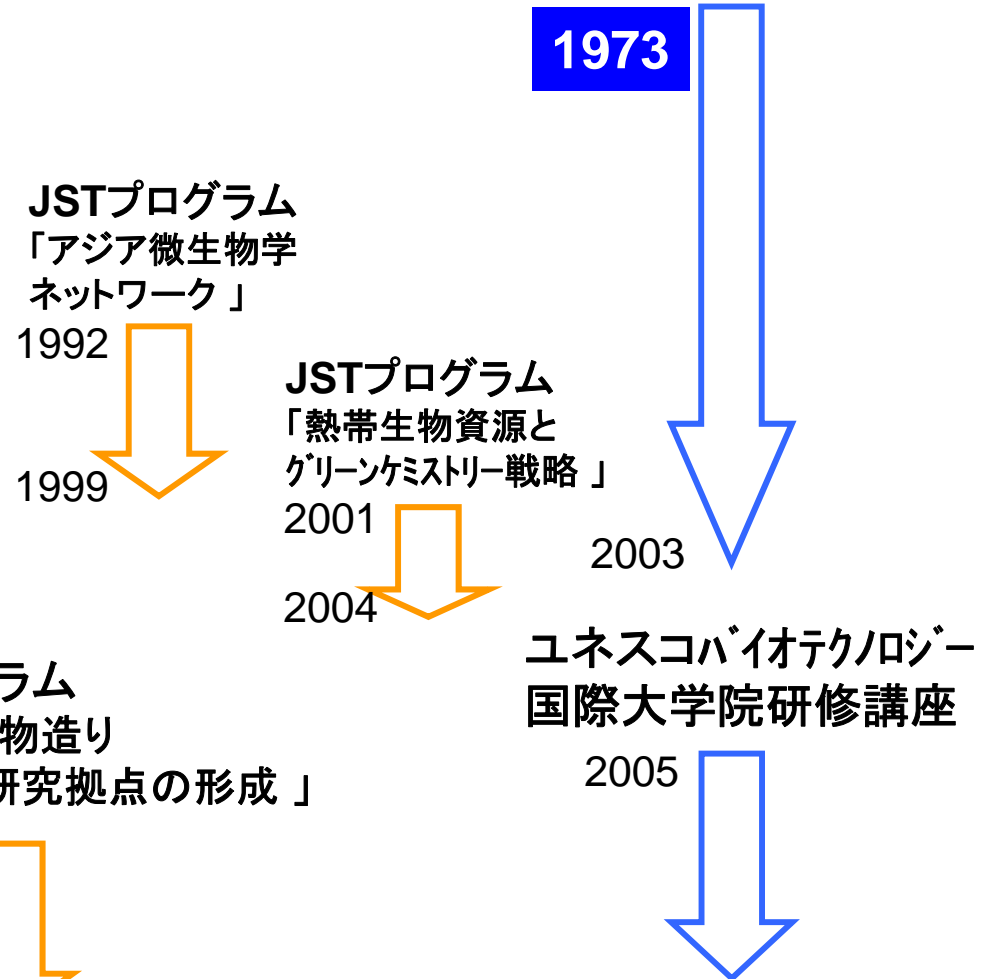
活動

これまで

JSPSプログラム

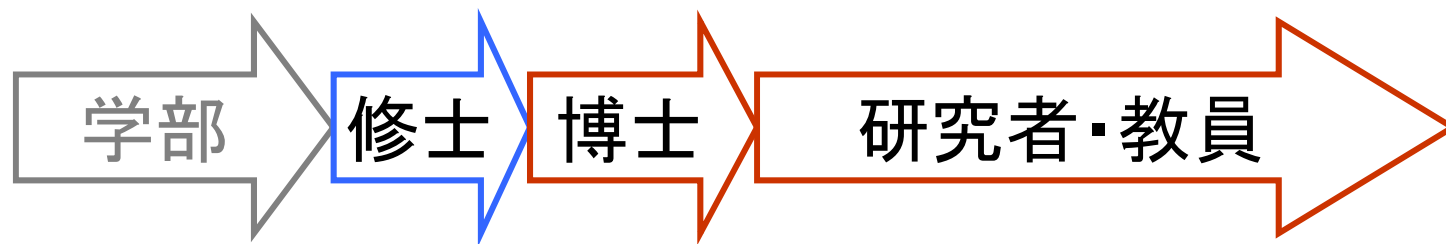


ユネスコ微生物学 国際大学院研修講座



国際交流

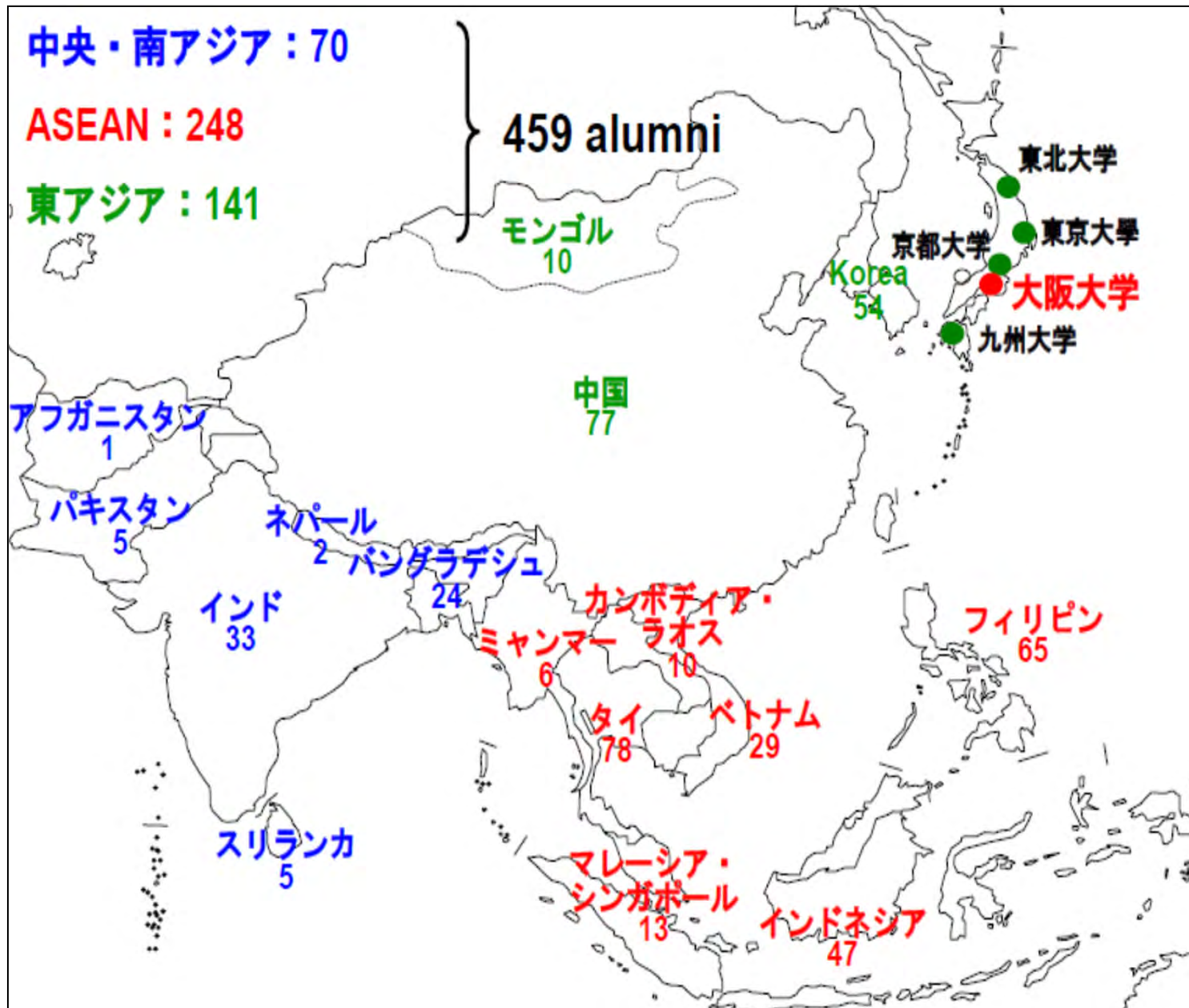
| | 対象 | プログラム |
|----|---|-----------------------|
| 教育 | 大学院生  | UNESCO国際大学院 研修講座 |
| 研究 | 研究者・教員 | JSPSプログラム JSTプログラム |



UNESCO国際大学院研修講座

| | 微生物学国際大学院 | バイオテクノロジー国際大学院 |
|----------|-----------------------------|---------------------------|
| 運営期間 | 1973-2003 30年 | 2004-2007 3年 |
| 修了生 | 411名 | 48名 |
| 場所 | 日本 | 日本・タイ |
| 資金 | 日本 | 日本・タイ |
| 参加大学 | 日本5主要大学 (東北・東京・京都・大阪・九州) | 日本5主要大学 タイ5主要大学+BIOTEC |
| コース構成 | 1コース | 基礎・先端コース |
| 期間 | 1年間 | |
| 講義 | 大阪 | バンコク・大阪 |
| 研究トレーニング | 日本 | 日本・タイ |
| 学位 | 修了証のみ | |

UNESCO国際大学院研修講座 実績(1973~2012)





資料5 日本の大学が主導した国際的人的ネット・ワーク

平成16年4月14日

西野 文雄

次の三つの活動について簡単に紹介する。

1. 東京大学土木工学専攻の留学生教育
2. 大阪大学生物工学国際交流センター
3. Southeast Asia Engineering Education Network (SEED Net、JICA案件)

UNESCO微生物学国際大学院 実績

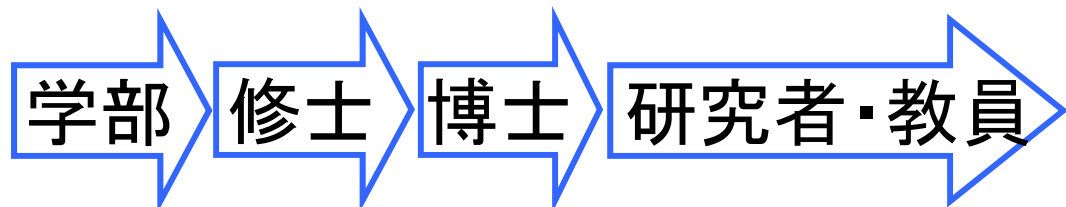
平成16年当時

| 経歴した役職 | 人数 |
|------------------------------|----|
| President | 4 |
| Vice President | 5 |
| Dean, Director (学部長、センター長相当) | 19 |
| Deputy Dean (副学部長相当) | 9 |
| Head, Chief (学科長相当) | 15 |
| Associate Head (副学科長相当) | 4 |
| 計 | 56 |

生物工学国際交流センター

活動

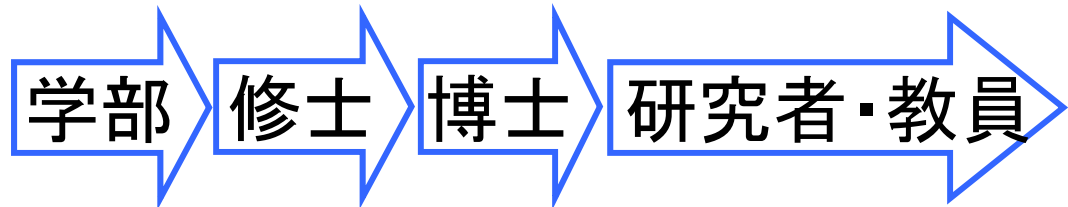
現在



| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| G30プログラム | | | | |
| JASSO短期留学 (本学大学院生) | | | | |
| 5年間一貫英語コース (フロンティアバイオテクノロジー) | | | | |
| FrontierLab@Osaka Univ | | | | |
| JSPS二国間共同研究 | | | | |
| JSPS アジア研究教育拠点事業 | | | | |
| UNESCO Biotechnology School in Asia | | | | |
| ユネスコ トレーニングプロジェクト | | | | |

生物工学国際交流センター 活動

現在



| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| G30プログラム | | | | |
| JASSO短期留学 | | | | |
| 5年間一貫英語コース (フロンティアバイオテクノロジー) | | | | |
| FrontierLab@Osaka Univ | | | | |
| JSPS二国間共同研究 | | | | |
| JSPS アジア研究教育拠点事業 | | | | |
| UNESCO Biotechnology School in Asia | | | | |
| ユネスコ トレーニングプロジェクト | | | | |

UNESCO国際大学院研修講座

微生物学国際大学院

1973-2003



バイオテクノロジー国際大学院

2004-2007



タイ・ベトナム・フィリピン・
インドネシアでの意見徴収

2009-2010



UNESCO Biotechnology
School in Asia

2011-

2012 研修生入学

新JFITプログラム; UNESCO Biotechnology School in Asia

応募資格; 学士号保持者

研修生数; 13-15名/年

参加大学負担;

1) 入学金・入学検定金・授業料・実験指導料・論文
審査料・研究費など不徴収

2) 1年目の奨学金

研修生
公募・
選抜



| カテゴリー | 応募者国籍 | 修士課程 | | | 修士学位 |
|-------|--------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------|-------------------------------------|---------------------|
| | | 1年目 | 10日間 | 2年目 | |
| A | カンボジア、 ミャンマー、 ラオス etc | タイ、インドネ シア、フィリピン、 ベトナムの 大学 | 開講式・ 研修 @ 大阪大学 | タイ、インドネシ ア、フィリピン、 ベトナムの大 学 | 修士課程 に入学し た大学 |
| B | タイ、インド ネシア、フィ リピン、ベト ナム etc | 自国の大学 | | 日本 (自国とは異なる 国の大学) | |

奨学金
引受国政府・大学

奨学金
ユネスコ・引受国政府

事業 1 年目


事業 2 年目

事業 3 年目

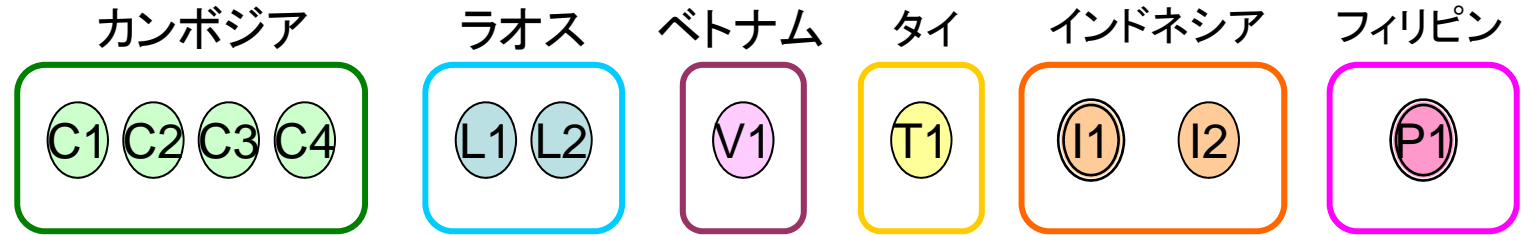
契約

第一期生(2012入学-2014修了)

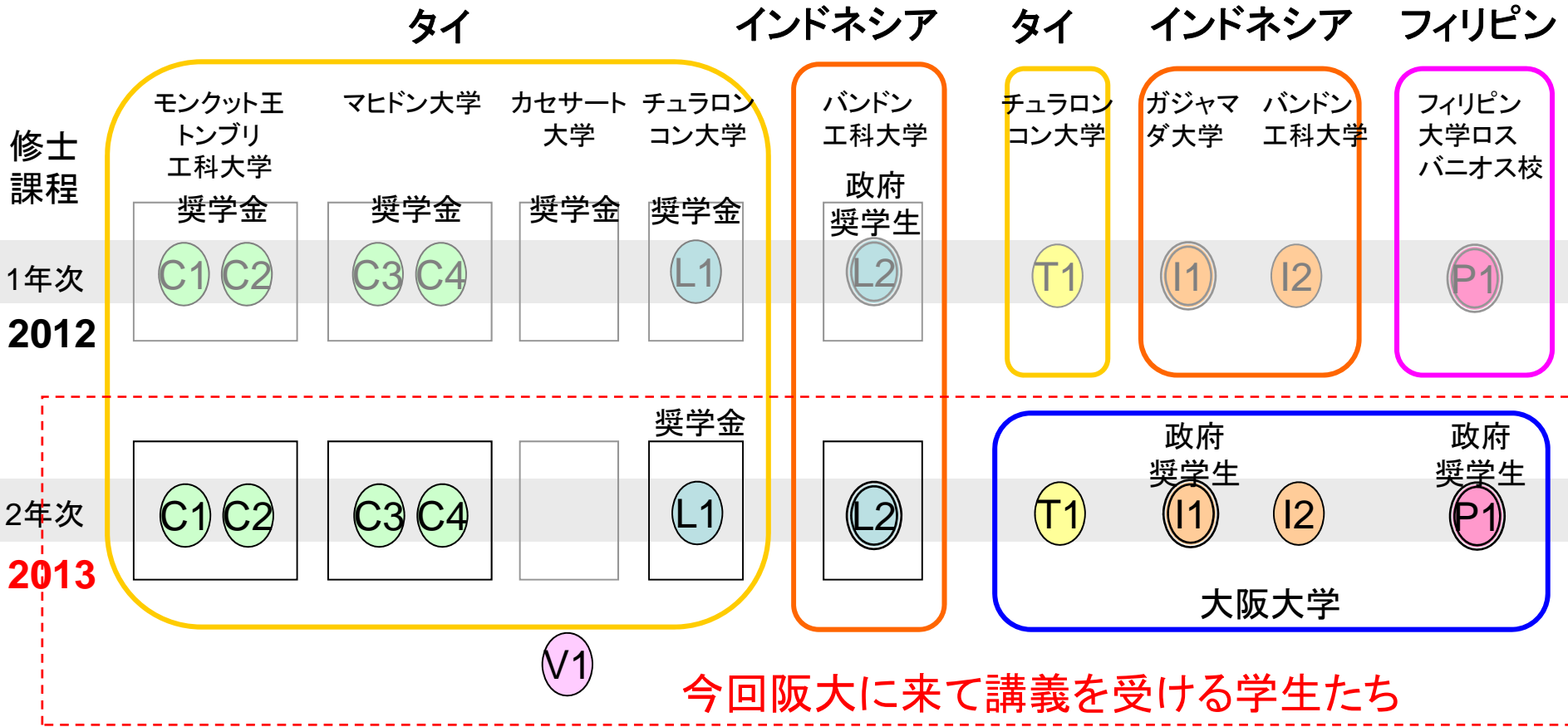
ASEAN域内大学間での学生の移動

各国政府奨学生 

参加学生の
国籍



— 各国コンソーシアムで選抜 —



UNESCO Biotechnology School in Asia

授業カリキュラムの統一化・質保証

博士課程

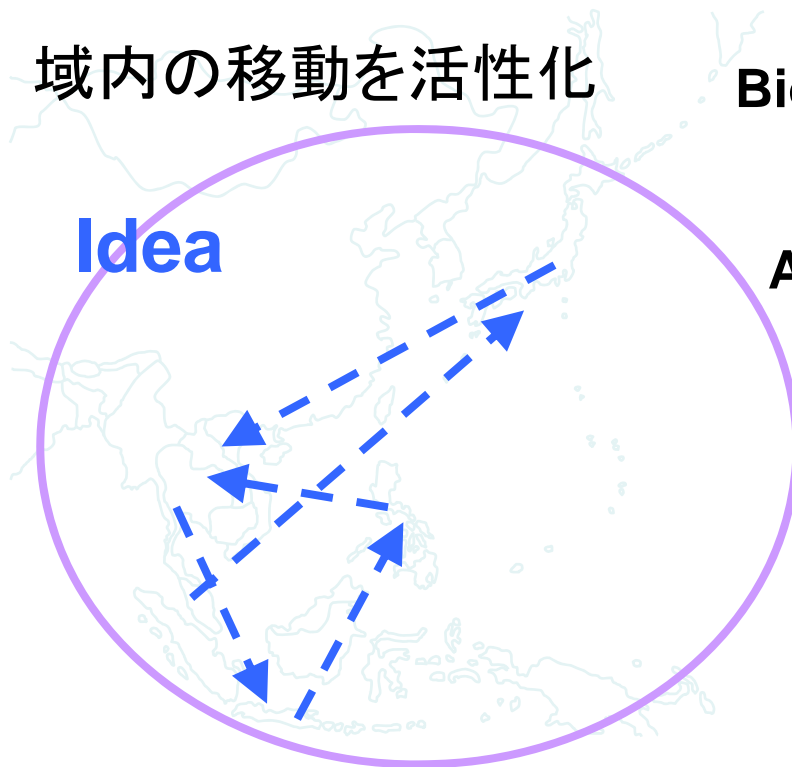
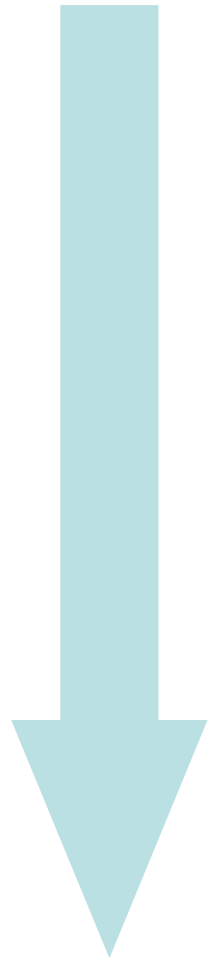
ジョイントディグリー・ダブルディグリー

域内の移動を活性化

Biotechnology School in Asia

Idea

ASEAN + Japan



UNESCO Biotechnology School in Asia

授業カリキュラムの統一化・質保証

博士課程

ジョイントディグリー・ダブルディグリー

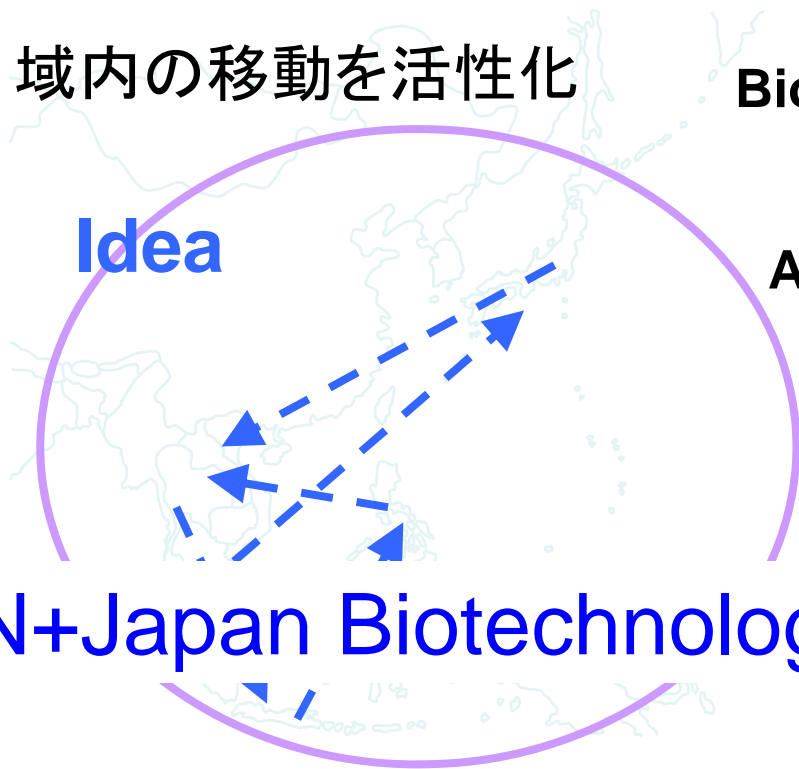
域内の移動を活性化

Biotechnology School in Asia

Idea

ASEAN + Japan

ASEAN+Japan Biotechnology School



生物工学国際交流センター

生物工学国際交流センター新棟開所式

UNESCO Biotechnology School in Asia
開講式

生物工学国際交流センター新棟開所式

UNESCO Biotechnology School in Asia
開講式

UNESCO国際大学院研修講座開始40周年
=ASEAN友好協力40周年

**40th Year of ASEAN-Japan Friendship and
Cooperation**



平成25年5月23日

第19回 国際交流会議「アジアの未来」安倍内閣総理大臣スピーチ

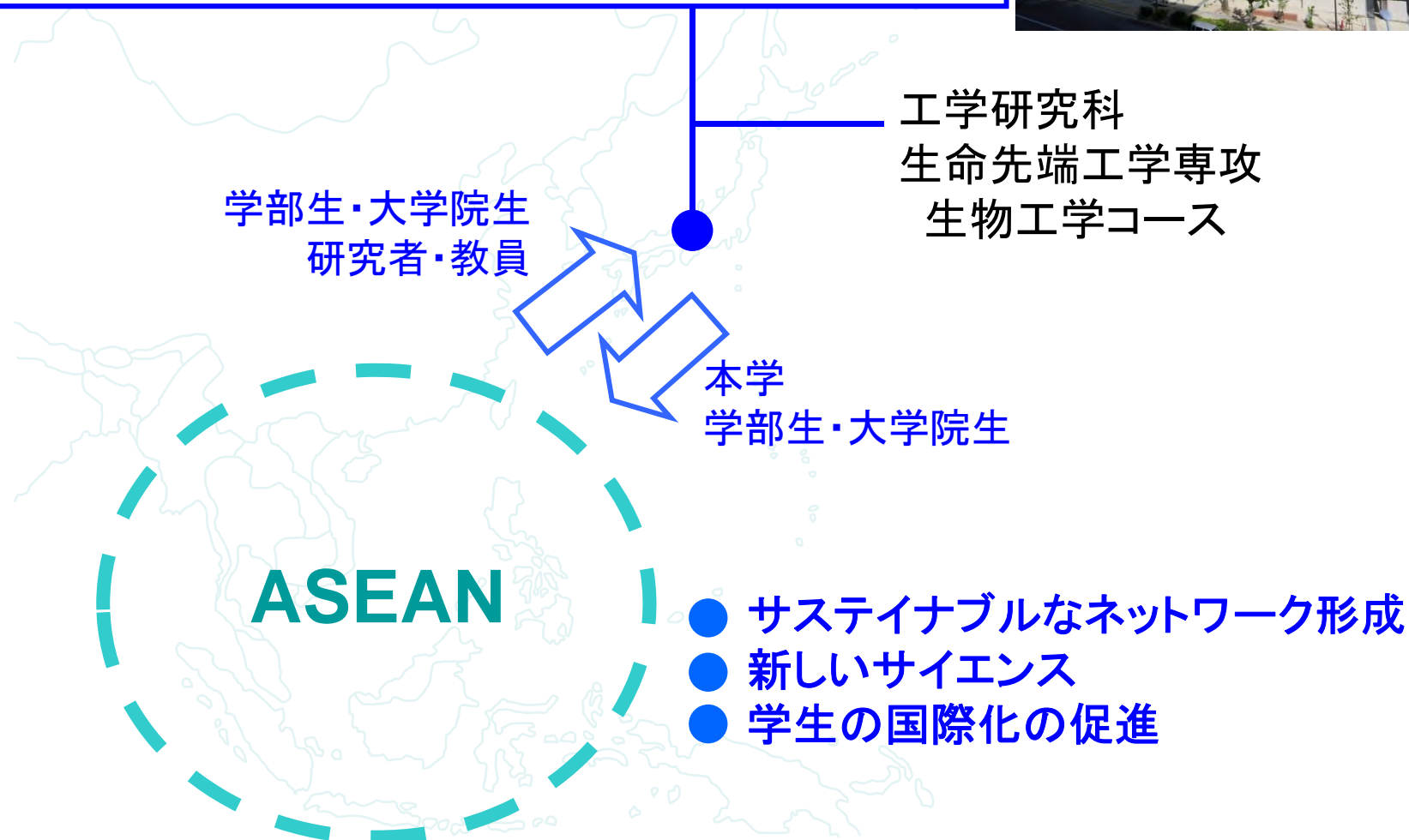
アジアの未来とは、学び合う未来だとも、定義したいと思います。経験を伝えるに寛容で、学ぶに謙虚なアジアです。それを伸ばしていくことが、私たち、一国をあずかる者の使命です。

将来を悲観し、内へ、内へと閉じこもる日本人を育ててしまうなら、それは世界に対する責任の放棄になります。

大阪大学生物工学国際交流センター

International Center for Biotechnology

Osaka Univ



大阪大学生物工学国際交流センター

これからもご支援・ご協力・ご鞭撻
よろしくお願い申し上げます